

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 田中 悟	電話番号	0852-22-5195
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	河川維持管理事業		
目的	(1) 対象	流域住民	
	(2) 意図	適正に管理することにより流域住民が安心して暮らせるようにする	
事業概要	県河川管理施設の機能を良好な状態に保つため、県単河川修繕事業を実施する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			指標名	護岸の整備箇所数	目標値		60.00	60.00	60.00
式・定義	護岸の整備箇所数	実績値	61.00	75.00	69.00	55.00			
		達成率		125.00	115.00	91.70		%	
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	905,261	1,514,417
うち一般財源 (千円)	729,505	1,163,572

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

巡視・点検や地元からの通報等による情報から修繕が必要な箇所を把握し、工事を実施している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成26年度は、目標値60箇所に対し達成率92%となり、概ね目標を達成した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

限られた予算の中、修繕要望箇所が多く、全てに対応することは困難である。

②困っている状況が発生している「原因」

修繕要望箇所に必要な予算を確保できない。

③原因を解消するための「課題」

巡視・点検を強化し、修繕箇所の優先順位付けをする必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

修繕要望箇所に必要な予算を確保できないので、巡視点検や地元からの情報収集体制を強化し、修繕箇所の重要度や優先順位付けを行い、予算配分を行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--